大阪産業人材育成戦略 平成26年度アクションプラン(概要)

大阪産業人材育成戦略 (H24.2策定 戦略の推進期間:平成24年度～28年度(5年間))

基本コンセプト

- ・世界をリードする大阪産業の持続的発展を支えるための人材育成・確保
- ・誰もが能力を発揮し安定就労を目指すことができる人材育成

戦略の柱

- I 成長産業を担う人材、企業のイノベーションを促進する人材の育成・確保
 - 成長が期待できる分野(新エネルギー、バイオ等)の人材
 - アジアを中心としたグローバル化に対応できる人材
- II 産業基盤であるものづくり分野の人材育成・確保
 - 優れた技術・技能の継承
 - 中小企業に対する人材育成支援
- III 雇用のボリュームゾーン(介護・福祉分野等)を担う人材の育成・確保
 - 介護・福祉サービス人材の育成・確保
 - コミュニティ・ビジネスの創出による働く場づくりとスキルアップ
- IV セーフティネット機能としての人材育成・支援
 - 就職困難者に対するきめ細かな支援
 - 障がい者の雇用促進とスキルアップ
- V 社会経済情勢の変化に対応した人材育成・確保

戦略の柱に
共通する取組

横断的取組

- I 産学官連携の充実強化
 - 人材育成・確保をテーマとした産学官連携の強化
 - 人材育成施策のネットワーク化
- II 技専校の機能の充実・委託訓練事業の充実
 - 地域における人材育成の拠点化
 - 在職者に対する職業能力開発の強化
 - 産業人材育成を見据えた職業訓練の展開
- III キャリア教育の充実
 - 学校教育におけるキャリア教育の推進
 - 企業と連携したキャリア教育の推進
 - 地域と連携したキャリア教育の推進

平成26年度アクションプラン

平成26年度アクションプラン

“若者、女性、障がい者、中高年齢者の活躍支援と中小企業の人材確保支援”を行うとともに、“産業振興と一体となった産業人材の育成、就業支援”を行うため、165事業を実施し、約4万3千人の人材育成・確保を目指します。

具体的な取組み

- ★若者、女性、障がい者、中高年齢者の活躍支援と中小企業の人材確保支援
 - i 若者の就職支援と中小企業とのマッチング支援
 - ◇ 地域金融機関等と連携した未就職若年者等就職支援事業(大阪府)【18】《新》
⇒中小企業と若者との交流会等を開催し、地域の中小企業と若者のマッチングを行う。
 - ◇ 大阪府立高等職業技術専門学校地域連携事業【112】
⇒地域企業と連携し、地域の訓練ニーズを把握して訓練科目やテクノ講座の充実を図る。
 - ◇ 若者と企業マッチング事業(大阪市)【20】《新》
 - ii 女性の就業機会の拡大
 - ◇ 若年女性のための「しごとらボ」推進事業(大阪府)【14】《新》
⇒働くことに弱気になっている未就業の若年女性の就業・定着をバックアップする。
 - ◇ 有資格者等の復帰支援事業(Lフェニックス事業)(大阪府)【25】
⇒出産育児、転職等で現場から遠ざかっている有資格者の復帰、再就職支援等を行う。
 - iii 障がい者雇用の促進
 - ◇ 精神・発達障がい者職場定着支援事業(大阪府)【98】《新》
⇒雇用検討企業等の社員向けに、障がいに対する正しい理解と職場内の協力体制を築く。
 - ◇ 障がい者の雇用促進事業(大阪府)【99】《新》
⇒障がい特性に応じた就職支援を行うとともに、企業に職務切り出しのサポート等を行う。
 - iv 中高年齢者の雇用対策
 - ◇ 中高年失業者等に対する産業人材育成事業(大阪府)【17】《新》
⇒高い技術・経験等を持つ中高年失業者等に対し、正社員雇用に向けた人材育成を行う。
- ★産業振興と一体となった産業人材の育成、就業支援
 - i 成長産業分野における就業支援
 - ◇ 成長産業分野人材マッチング事業【10】《新》
⇒高度専門人材をライフサイエンス分野等への参入を目指す中小企業とマッチングする。
 - ii 人材不足の業界における産業人材育成
 - ◇ 建設業者若年者入職促進事業(大阪府)【86】《新》
⇒若年失業者を対象に建設業に必要な訓練を行い、建設事業者への就職に結びつける。

事業数

165事業
(大阪府事業:98事業、関係機関事業:67事業)

予算額

約129億円
(大阪府事業:約110億円、関係機関事業:約19億円)

平成26年度目標

平成26年度人材育成・確保数 : 約4万3千人 (※数値目標が設定可能な51事業)
 人材育成数(能力開発訓練、セミナー等参加者数等) : 約3万2千人
 人材確保数(就職マッチング数等) : 約1万1千人

関係機関

大阪労働局、大阪市、堺市、大阪商工会議所、(独法)高齢・障害・求職者雇用支援機構、日本労働組合総連合会 など